

令和5年度
事業報告書

令和5年度 事業報告

令和5年度は、「地域共生社会」の実現に向けた行動計画としての性格を有する地域福祉活動計画（第6次）が最終年度を迎え、重点事業に位置付けた「福祉まるごと相談体制による相談・支援の実施」、「地域支え合い活動の推進」、「権利擁護の推進」、「多様なボランティア活動の推進」を中心に、各種事業に取り組みました。

「福祉まるごと相談体制による相談・支援の実施」については、相談内容に応じて係を横断した連携を取り合い、関係機関とも連携し、つながり続ける伴走型支援を実施しました。また、毎月1回全係による情報共有を行うとともに、全職員対象の研修を行い、個別支援を地域支援につなげる体制の充実に努めました。

「地域支え合い活動の推進」については、地域福祉活動の推進母体である15地区の地区地域福祉推進委員会に対する支援を継続しながら、地域福祉コーディネーターとして個別支援・地域支援に取り組み、また、生活支援コーディネーターとして市行政や地域包括支援センター、市民の方々と連携を図り、地域の中で住民同士が互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりや居場所づくり等の推進に努めました。

「権利擁護の推進」については、厚木市が策定した厚木市成年後見制度利用促進基本計画に基づき、厚木市権利擁護支援センター事業として成年後見制度の広報啓発や相談体制の充実に努め、制度の利用が必要な人に支援がつながるよう関係機関や専門職との連携を図り、本人を中心としたチーム支援に取り組みました。さらに、本人に寄り添い、地域に密着した活動を行うことが期待されている市民後見人の登録者に対し、待機期間の支援（日常生活自立支援事業の生活支援員として活動）を継続しました。

日常生活自立支援事業では、判断能力が十分でない高齢者や障がい者が地域で安心して暮らし続けることができるよう、福祉サービスの利用手続きの支援や金銭管理等の支援を行い、必要に応じて成年後見制度への移行を実施し、本会法人での後見人等の受任等、包括的な権利擁護の推進に取り組みました。

「多様なボランティア活動の推進」については、福祉に対する意識や関心を高めることを目的とした「赤い羽根共同募金ボランティア養成講座」を新規に実施し、子のみならず、親世代に対する福祉教育の推進を図ることができました。

災害ボランティアセンターの運営については、運営スタッフ養成講座や運営スタッフ向け研修を開催し、災害ボランティア支援体制の強化を図りました。さらに、市民向けに「災害に備える地域力講座」を新たに開催し、平時から取り組める地域防災や災害支援について考える機会を創出しました。

これら重点事業のほか各種事業については、行政や福祉関係機関等との連携・調整を図りながら効果的かつ効率的な事業の実施に努めたほか、賛助会員への加入促進のため、フェイスブックによる情報の発信など、本会事業への理解を深めていただく取組を行いました。

また、第7次地域福祉活動計画を策定し、5つの活動目標を掲げ、支え合う地域の仕組みづくりや福祉の心を育てる取組など、すべての人が安心して暮らせる地域の実現に向けた取組を進めることとしています。

重点事業及び各種事業の実施状況については、次のとおりです。

1 法人事業

(1)法人運営事業【115,887,271円】

ア 法人運営に係る会議等の開催

(ア) 理事会

1	開催日	令和5年5月30日(火)
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	理事8人、監事2人
	審議事項等	(1)議案第1号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 経理規程の一部を改正する規程について (2)議案第2号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 個人情報の保護に関する規程の制定について (3)議案第3号 令和4年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業報告について (4)議案第4号 令和4年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 決算について (5)議案第5号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員の選任候補者の推薦について (6)議案第6号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 理事及び監事の候補者について (7)議案第7号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員選任・解任委員会の招集について (8)議案第8号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員会の招集について (9)報告事項1 職務執行状況報告について (10)報告事項2 厚木市による指導監査の結果について (11)報告事項3 一般会員の退会について
2	開催日	令和5年6月21日(水)
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	理事10人、監事2人
	審議事項等	(1)議案第9号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 会長の選定について (2)議案第10号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 副会長の選定について (3)議案第11号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 常務理事の選定について

3	開催日	令和6年1月30日（火）
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	理事9人、監事2人
	審議事項等	<p>(1) 報告第1号 専決処分の報告について （令和5年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支補正予算(第1号)について）</p> <p>(2) 議案第12号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 正規職員の給与規程の一部を改正する規程について</p> <p>(3) 議案第13号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 緊急援護資金貸付金の償還免除及び債権の放棄について</p> <p>(4) 議案第14号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員会の招集について</p> <p>(5) 第7次厚木市社会福祉協議会地域福祉活動計画（案）について</p> <p>(6) 報告事項1 地域福祉活動計画（第6次）の実施状況について</p> <p>(7) 報告事項2 職務執行状況報告について</p>
4	開催日	令和6年3月18日（月）
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	理事10人、監事2人
	審議事項等	<p>(1) 議案第15号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 職員の定年等の規程の一部を改正する規程について</p> <p>(2) 議案第16号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 就業規程等の一部を改正する規程について</p> <p>(3) 議案第17号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 正規職員の給与規程の一部を改正する規程について</p> <p>(4) 議案第18号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 居宅介護事業所運営規程の一部を改正する規程について</p> <p>(5) 議案第19号 役員等賠償責任保険の契約について</p> <p>(6) 議案第20号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 地域福祉活動計画について</p> <p>(7) 議案第21号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 経営計画について</p> <p>(8) 議案第22号 令和6年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業計画について</p> <p>(9) 議案第23号 令和6年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支予算について</p> <p>(10) 議案第24号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 理事の候補者について</p> <p>(11) 議案第25号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員会の招集について</p>

(イ) 評 議 員 会

1	開催日	令和5年6月20日(火)
	場 所	厚木市保健福祉センター
	出席者	評議員16人、監事2人
	審議事項等	(1)議案第1号 令和4年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会事業報告について (2)議案第2号 令和4年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会決算について (3)議案第3号 理事の選任について (4)議案第4号 理事の選任について (5)議案第5号 理事の選任について (6)議案第6号 理事の選任について (7)議案第7号 理事の選任について (8)議案第8号 理事の選任について (9)議案第9号 理事の選任について (10)議案第10号 理事の選任について (11)議案第11号 理事の選任について (12)議案第12号 理事の選任について (13)議案第13号 監事の選任について (14)議案第14号 監事の選任について (15)報告事項1 厚木市による指導監査の結果について
2	開催日	令和6年2月13日(火)
	場 所	厚木市保健福祉センター
	出席者	評議員14名
	審議事項等	(1)報告第1号 専決処分の報告について (令和5年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)について) (2)議案第15号 緊急援護資金貸付金の償還免除及び債権の放棄について (3)報告事項1 第7次地域福祉活動計画(案)について (4)報告事項2 地域福祉活動計画(第6次)の実施状況について
3	開催日	令和6年3月28日(木)
	場 所	厚木市保健福祉センター
	出席者	評議員15名
	審議事項等	(1)議案第16号 令和6年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会事業計画について (2)議案第17号 令和6年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会資金収支予算について (3)議案第18号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会理事の選任について (4)報告事項1 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会地域福祉活動計画について (5)報告事項2 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会経営計画について

(ウ) 評議員選任・解任委員会

開催日	令和5年7月7日(金)
場所	厚木市保健福祉センター
出席者	委員3人
審議事項	(1)議案第1号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員の選任について

(エ) 監査

開催日	令和5年5月17日(水)
場所	厚木市保健福祉センター
出席者	監事2人
審議事項	(1)理事の業務執行の状況について (2)法人の財産の状況について

(オ) 厚木市財政援助団体等監査

開催日	令和5年11月24日(金)
場所	厚木市役所本庁舎
出席者	厚木市監査委員3人ほか
審議事項	(1)厚木市緊急援護資金貸付事業について (2)ふれあい基金について (3)地域福祉推進委員会事業について

イ 役員等研修会

県央都市社会福祉協議会連絡協議会が開催する役員研修会に参加しました。

開催日	令和6年3月27日(水)
場所	ZOOMでのオンライン開催
出席者	講義：テーマ「社会福祉法人会計について」
審議事項	ユニビスタシステムズ(株)代表取締役 増淵良昭氏

ウ 会員募集運動

一般会員会費と賛助会員会費を合わせた納入総額 17,363,937円

(ア) 一般会員会費 595,000円
第1種会員から第7種会員の合計119団体の一般会員会費(@5,000円)

(イ) 賛助会員会費 16,768,937円
a 個人 自治会を通して各世帯に賛助会員会費の納入を依頼(@500円)
b 法人 ダイレクトメールにより各法人に賛助会員会費の納入を依頼(@1,000円)
※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、加入募集期間を延長しました。

賛助会員会費の実績

(単位：円)

(単位：世帯、法人)

地区名	会 費		会費合計	会員数		会員合計
	世 帯	法 人		世帯数	法人数	
厚木北	781,150	406,872	1,188,022	4,846	93	4,939
厚木南	1,028,100	238,780	1,266,880	3,140	30	3,170
依知北	927,930	166,615	1,094,545	3,183	41	3,224
依知南	808,970	163,780	972,750	2,380	34	2,414
睦合北	606,000	141,505	747,505	2,045	20	2,065
睦合南	832,210	140,670	972,880	4,806	33	4,839
睦合西	434,000	75,000	509,000	2,489	15	2,504
荻野	1,677,523	116,000	1,793,523	4,943	24	4,967
小鮎	1,309,350	114,615	1,423,965	3,392	29	3,421
南毛利	2,601,627	165,806	2,767,433	7,749	44	7,793
南毛利南	933,600	127,000	1,060,600	2,549	30	2,579
玉川	441,500	82,000	523,500	893	16	909
森の里	537,445	0	537,445	2,031	0	2,031
相川	1,138,700	275,850	1,414,550	3,016	70	3,086
緑ヶ丘	479,449	16,890	496,339	1,728	6	1,734
合計	14,537,554	2,231,383	16,768,937	49,190	485	49,675

エ 事務局の管理運営等

(ア) 事務局の管理運営

文書の処理、人事管理、経理及び財産の管理等を行い、事務局の円滑な管理運営に努めました。

(イ) 月次巡回監査等の実施

「厚生労働省」社会福祉法人審査基準（第3の6の(1)）に基づく、専門家による財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援の趣旨に基づき、西迫会計事務所と社会福祉法人経理支援業務委託契約を締結し、月次巡回監査等を実施しました。

結果：財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務実施報告書（本書111ページ）のとおり

オ 職員研修・人材育成

神奈川県社会福祉協議会や福祉関係機関等による研修を受講したほか、内部研修や全職員を対象としたスーパービジョンの実施により、職員の資質向上及び共通理解を図りました。

さらに、社会福祉士相談援助実習を受入れ、職員の資質向上を図るとともに次世代の社会福祉専門職の養成に取り組みました。

(7) 外部研修

- 4月 生活福祉資金新任担当者研修
- 5月 自立支援型地域ケア会議に伴う研修
- 6月 重層的支援体制構築支援事業研修会、県社協市町村社協部会局長セミナー
- 7月 重層的支援体制構築支援事業研修会(管理職向け)
- 8月 業務継続計画策定研修、意思決定支援ガイドライン研修、生活支援コーディネーター研修、チームビルディング研修、日常生活自立支援事業現任者研修、日常生活自立支援事業テーマ別研修
- 9月 女性支援者研修、重層的支援体制課題別研修会、災害ボランティアセンターにおけるICT活用研修会、同行援護ヘルパー初任者研修
- 10月 重層的支援体制整備事業研修、法人後見担当者現任研修、社協組織マネジメント研修(基礎編)、中堅職員キャリアパス対応生涯研修、ぱあとなあ「成年後見制度の現況と今後の展望」研修、神奈川工科大学 災害ケア研究センター地域機関との拡大ミーティング
- 11月 社協組織マネジメント研修(基礎編)、社会福祉士実習指導者講習会
- 12月 法人後見担当者現任研修、持続可能な権利擁護支援モデル事業研修、重層的支援体制整備事業研修、社協基礎研修①、社会福祉士実習指導者情報交換会
- 1月 社協基礎研修②、持続可能な権利擁護支援モデル事業研修、成年後見制度利用促進体制整備研修、社協基礎研修③
- 2月 日常生活自立支援事業管理者・現任者研修、厚愛地区医療介護連携多職種研修会、県社協職員会研修会、日常生活自立支援事業現任者研修、インボイス制度オンラインセミナー
- 3月 重層的支援体制整備事業課題別研修会、県社協市町村社協部会会長・事務局長セミナー、災害ボランティアセンターにおけるICT活用研修会

(イ) 内部研修

- 8月 グループワーク
- 11月 「福祉まるごと相談体制の充実」
講師 武蔵野大学人間科学部社会福祉学科 渡辺裕一 教授
- 3月 事例検討「複合的な課題がある世帯への関わり方を考える」

(ウ) 社会福祉士実習の受入

- 日程 8月14日～9月14日のうち24日間及び災害ボランティアセンター設置運営訓練
- 人数 1人(大妻女子大学人間関係部人間福祉学科 3年生)

カ 県央都市社会福祉協議会連絡協議会

県央都市社協連絡協議会へ参加し、情報交換、調査研究を行いました。

(7) 幹事会

- 開催日 令和5年7月24日付 ※書面開催
- 内容 令和5年度県央都市社会福祉協議会連絡協議会総会資料について

(イ) 総 会

開催日 令和5年8月7日（月）
場 所 秦野市保健福祉センター
内 容 ・令和4年度事業報告及び決算について
・令和4年度監事監査報告
・令和5年度役員選任について
・令和5年度事業計画(案)及び予算(案)について
・神奈川県社会福祉協議会より情報提供と情報共有

(ロ) 幹部職員会

開催日 令和6年2月29日（水）
場 所 秦野市保健福祉センター
テーマ 「県央都市社会福祉協議会連絡協議会について」

(エ) 会長会・幹事会合同会議

開催日 令和6年3月25日付（月）※書面開催
内 容 ・令和5年度事業報告について
・令和6年度事業の方向性（案）について
・県央都市社協連絡協議会役員の輪番について
・市町村社協部会（県社協主管）役員選出について

(オ) 課題別職員情報交換会

1	開催日	令和5年10月31日（火）
	場 所	秦野市保健福祉センター
	テーマ	「コロナ特例貸付借受者の支援について」
2	開催日	令和6年2月21日（水）
	場 所	秦野市保健福祉センター
	内 容	・福祉教室の取組について ・車いすバスケット体験（講師 湘南スポーツクラブ）
3 【再掲】	開催日	令和6年2月29日（水）
	場 所	秦野市保健福祉センター
	テーマ	「県央都市社会福祉協議会連絡協議会について」

(カ) 役員対象研究会【再掲】

開催日 令和6年3月27日（水）
場 所 ZOOMでのオンライン開催
内 容 講義：テーマ「社会福祉法人会計について」
講 師 ユニビスタシステムズ(株)代表取締役 増淵良昭 氏

キ 福祉まるごと相談

市民の日常生活における福祉に関する様々な心配事、悩み事、困り事など、あらゆる福祉問題に幅広く気軽に相談できる窓口として、「福祉まるごと相談」を実施しました。

(7) 相談対応延べ件数 172件（新規相談対応74件、継続相談対応98件）

※ 複合的な課題を抱える世帯の相談にも応じているため、1回の相談において対象者属性が複数となる場合があります。

(単位：件)

対象者属性							初回 継続		相談方法				対応内容			
高齢者		障がい者			一般	その他	初回	継続	来所	電話	訪問	その他	相談援助	連絡調整	ケースカンファレンス	その他
認知症	一般	知的	精神	身体												
2	45	25	63	3	41	2	74	98	18	145	4	6	142	3	2	26

相談内容（初回相談時）

(単位：件)

生活困窮	福祉サービス	家族関係	住宅関係	住環境整備	介護	保健・医療	離職・就労	子育て	年金	財産・相続	認知症関係	生きがい	リハビリ	福祉機器	活動組織の 立ち上げ支援	権利擁護	その他
22	4	4	1	3	7	4	2	0	1	1	0	0	0	1	3	1	20

(イ) 事例検討会を1回開催しました。

(ロ) 毎月1回、内部情報交換会を開催しました。

ク 社協あつぎの発行

(ア) 「社協あつぎ」第170号から第173号まで、それぞれ6月、9月、12月、3月の各15日に、4回発行しました。（自治会を通じて配布）

(イ) 広報委員会の開催

社協あつぎ	開催日	場所
第170号	令和5年5月12日(金)	厚木市保健福祉センター
第171号	令和5年8月18日(金)	厚木市保健福祉センター
第172号	令和5年11月13日(月)	厚木市保健福祉センター
第173号	令和6年2月14日(水)	厚木市保健福祉センター

ケ 厚木市社会福祉大会

第54回厚木市社会福祉大会（厚木市と共催）

開催日	令和5年11月19日（日）
場 所	厚木市保健福祉センター
被表彰者等	表彰 40の個人・団体 感謝状贈呈 12の個人・団体
参加者	65人

コ 啓発宣伝・情報配信事業

本会ホームページ及びフェイスブックにより、本会の事業及び地区地域福祉推進委員会のイベント等の情報発信に努め、また福祉情報の提供を行いました。

さらに、職員が地域等に出向き、本会事業について話をする「出前講座」を実施しました。

(ア) フェイスブックへの投稿

152回（フォロワー数31増）

(イ) 出前講座

10回実施

内容 成年後見、終活について 9回
災害ボランティアセンターについて 1回

対象 地域包括支援センター職員、障がい者相談支援センター職員、
特定非営利活動法人職員、訪問介護事業所職員、当事者団体、
地区住民、ボランティア団体等

サ ふれあい基金

寄付採納件数・金額 3件 総額 450,000円

シ 善意銀行

(ア) 一般寄付

a 寄付採納件数・金額 47件 総額 1,344,312円

b 物品寄付 17件

内容 使用済み切手、文具、食品、マスク等

(イ) 指定寄付

a 寄付採納件数・金額 1件 総額 172,975円

用途の指定 交通遺児支援

b 物品寄付 1件

内容 もいちどペーパー（トイレトペーパー）10,000ロール

用途の指定 市内障がい者施設及び障がい者福祉事業所のために

(2)住民福祉活動推進事業【23,886,765円】

ア 地区地域福祉推進委員会事業費の交付

15地区の地区地域福祉推進委員会の運営や活動を支援するため、交付しました。

総 額 17,809,000円

交付金財源 賛助会員会費 6,709,000円

厚木市交付金 11,100,000円

イ 地区地域福祉推進委員会活動への助成

助成金名	助成地区数	助成金額
広報活動助成金	15 地区	230,000円
子育て支援事業助成金	15 地区	460,000円
高齢者ミニデイサービス事業等助成金	15 地区	2,250,000円
きずな交流事業助成金	13 地区	580,000円
見守り活動助成事業	12 地区	600,000円
合 計		4,120,000円

ウ 住民福祉活動推進事業

小地域ふれあい活動助成金（地域住民が行う自主的な活動の支援）

28団体 280,000円（@10,000×28）

エ 地域福祉コーディネーター活動事業

地区地域福祉推進委員会の活動支援とともに、地域の高齢者世帯、障がい者世帯等の個別課題の発見や解決等を図るため、地域の特性に応じた支援や社会資源、地域資源の活用などをコーディネートする地域福祉コーディネーターを配置し、地域福祉の推進に努めました。

(ア) 相談・問合せ件数（まるごと相談対応含） 1,097件

(イ) 会議、打合せ（ケア会議等）へ参画 708件

(ウ) 地域福祉活動、研修等へ参加 179件

(エ) 地域福祉コーディネーター情報交換会を開催（隔月に1回） 6回

オ 地域福祉推進委員会連絡会議の開催

地域福祉推進委員会相互の情報交換及び研修の場として、地域福祉推進委員会連絡会議を開催しました。

開催日	令和6年2月16日（火）
場 所	アミューあつぎ
参加者	地区地域福祉推進委員会委員 22人
内 容	研修会 テーマ「地域の居場所づくり～場づくりのコツ～ 講師 NPO 法人れんげ舎 代表理事 長田英史 氏

(3)福祉活動推進事業【2,863,092円】

ア 同行援護従業者養成研修事業

福祉人材育成のため、神奈川県指定を受け同行援護従業者養成研修を実施しました。

同行援護従業者養成研修 一般課程及び応用課程 修了者 12人

	開催日・場所	内 容
1	令和5年10月13日(金) 厚木市保健福祉センター	・開講式 オリエンテーション 〈一般課程〉視覚障害者(児)福祉サービス 〈一般課程〉同行援護の制度と従業者の業務 〈一般課程〉障害・疾病の理解① 〈応用課程〉障害・疾病の理解②
2	令和5年10月16日(月) 厚木市保健福祉センター	〈一般課程〉障害者(児)の心理① 〈応用課程〉障害者(児)の心理② 〈一般課程〉同行援護の基礎知識 〈一般課程〉情報支援と情報提供
3	令和5年10月20日(金) 厚木市保健福祉センター	〈一般課程〉代筆・代読の基礎知識 〈一般課程〉基本技能(演習)
4	令和5年10月23日(月) 厚木市保健福祉センター、 地下道、イオン厚木店	〈応用課程〉場面別基本技能(演習) 〈応用課程〉場面別応用技能(演習) 〈一般課程〉応用技能(演習)
5	令和5年10月27日(金) 厚木市保健福祉センター、 神奈川中央交通東(株)厚木営業所、 小田急線本厚木駅、海老名駅 相鉄線海老名駅	〈一般課程〉応用技能(演習) 〈応用課程〉交通機関の利用(演習) 〈応用課程〉場面別応用技能(演習) ・閉講式 修了証明書授与

※講師 神奈川県視覚障害者福祉協会 鈴木孝幸氏、福喜多恭子氏
厚木市社協居宅介護事業所 小池美智代氏

イ 福祉団体等助成事業

(ア) 福祉団体(8団体) 730,000円

(イ) 一般会員組織への助成(3団体) 690,000円

ウ 車いすの貸出事業

疾病やケガなどにより、一時的に車いすを必要とする方に貸出を行いました。

貸出件数 195件

エ 保育園児支援事業

市内保育施設における情操教育に関する教材等の整備に対する助成を行いました。

42施設 総額 789,112円

オ 福祉活動団体等の研修支援(マイクロバス運行)事業

運行件数 24件(市内10件・市外14件)

カ 障害者週間啓発事業

「障害者週間」の紹介及び「ともに生きるかながわ憲章」の理念を広く社会に浸透させるため、題字「ともに生きる」と本会公益事業の障がい者スタッフの絵をクリアファイルに印刷して市民に配布しました。

(4)共同募金配分金事業【1,428,454円】

ア 料理教室

料理教室を通して、シニア世代と子育て世代の正しい食生活の在り方について学ぶ機会とし、併せて相互の親睦を深め、健康増進を図ることを目的として、アミューあつぎ6階クッキングスタジオを会場に料理教室を開催しました。

開催日	内容	参加者
令和5年 7月14日(金)	調理実習	9人
令和5年 9月15日(金)	調理実習	9人
令和5年11月17日(金)	調理実習	5人
令和6年 2月16日(金)	調理実習	10人

イ 障害者地域活動支援センター助成事業

障害者地域活動支援センター事業所に対し、運営費として助成を行いました。

4施設 総額460,000円

ウ 高齢者福祉施設一日体験事業の実施

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

エ 年末たすけあい事業

共同募金年末たすけあい配分金で、障害者就労継続支援B型事業所と障害者地域活動支援センターの年末事業等に助成を行いました。

障害者就労継続支援B型事業所 12事業所

障害者地域活動支援センター 5事業所

総額 850,000円

(5) ボランティアセンター活動事業 【6,625,741 円】

ア ボランティアセンターの管理運営

(ア) ボランティア相談件数

(単位：件)

相談内容		対応内訳								件数
		情報提供、指導	情報周知	連絡調整	備品貸出	保険説明	講師派遣	募集資材掲出	その他	
活動相談	ボランティアの種類、方法	39	0	12	0	0	0	0	0	51
	団体の活動内容、参加方法	7	0	12	0	0	0	0	0	19
	実習、体験相談	4	0	9	0	0	0	0	0	13
	活動組織の立ち上げ支援	2	0	0	0	0	0	0	0	2
派遣相談	派遣相談	11	0	20	0	0	0	0	0	31
	掲出依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保険相談	保険の種類、加入方法	5	0	0	0	15	0	0	0	20
活動指導	団体からの活動相談、指導	13	0	2	0	0	0	0	0	15
	個人からの活動相談、指導	2	0	0	0	0	0	0	1	3
その他	団体への活動依頼方法	2	0	3	0	0	0	0	0	5
	収集ボランティア(送付先等)	2	0	1	0	0	0	0	0	3
	各種助成金	1	0	1	0	0	0	0	0	2
	備品貸出相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の問合せ	12	0	6	0	0	0	0	3	21
計		100	0	66	0	15	0	0	4	185

(イ) ポスター掲示

ポスター 33枚

チラシ・パンフレット 181冊

(ウ) ボランティア活動保険

加入手続き 164件

事故処理 7件

(エ) ボランティアセンター利用状況

部 屋 名	利用者数 (延べ人数)
研修室	11,995人
作業室	3,707人
点字作成室	2,400人
録音室	2,507人
対面朗読室	2,335人
合 計	22,944人

(オ) ボランティアセンター登録 (令和6年3月31日現在)

団体 70団体 3,955人
個人 35人

(カ) ボランティアセンター運営委員会の開催

開 催 日	令和5年6月28日 (水)
場 所	厚木市保健福祉センター
出 席 者	10人
協議事項	(1)委員長及び副委員長の選出について (2)令和4年度ボランティアセンター事業報告について (3)令和5年度ボランティアセンター事業計画について (4)その他

イ ボランティア講座の開催

(ア) 赤い羽根共同募金ボランティア養成講座

小学生を対象に、赤い羽根共同募金全体に対する理解を深め、福祉教育の一環として福祉に対する意識や関心を高めること及び親子等の参加により、親世代に対する福祉教育の推進を目的として開催しました。

開 催 日	講 義 令和5年8月4日 (金) 街頭募金活動 令和5年10月1日 (日)
場 所	厚木市保健福祉センター及び本厚木駅北口
講 師	社会福祉法人神奈川県共同募金会 事務局長 中島孝夫 氏
参 加 者	4組9人
内 容	赤い羽根共同募金運動についての講義、活動紹介及び街頭募金活動

(イ) 傾聴ボランティア養成講座

傾聴ボランティアの養成を図るため開催しました。

開催日	令和5年11月10日、17日、24日、12月1日、8日 すべて金曜日
場所	厚木市保健福祉センター
講師	特定非営利活動法人P・L・A（パートナーシップアンドリスニングアソシエーション） 理事長 後庵正治氏、小俣眞佐美氏
参加者	12人

(ウ) ボランティアスタートアップ講座

ボランティアに関心がある方や今後活動をしたいと考えている方を対象に、ボランティアの基本を学ぶことを目的としたボランティアスタートアップ講座を開催しました。

開催日	令和6年3月2日（土）
場所	厚木市保健福祉センター
講師	認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会 運営委員 唐木理恵子氏
参加者	21人
内容	(1) ボランティアについて（講義） (2) グループワーク（ボランティアを始めるにあたっての心配、疑問）

ウ 福祉教育推進事業

(ア) 小中学生用福祉教育推進事業

小中学校における福祉教育推進のため、体験学習の講師を派遣しました。

また、点字体験及び高齢者擬似体験については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため講師の派遣を原則中止し、希望する学校には物品貸出のみ行いました。

福祉教育実施学校数 29校（小学校22校、中学校7校）

講座名	延べ実施校数	実施回数	延べ受講児童・生徒数
手話体験	23校	23回	1,866人
点字体験	9校	9回	823人
誘導體験	11校	11回	953人
車いす体験	18校	18回	1,320人
高齢者擬似体験	12校	12回	938人
認知症サポート	5校	5回	389人
合計		78回	6,289人

(イ) 高校生用福祉教育推進事業

見守り、見守られ、支え合い、一人一人が尊重される地域づくりの推進を図るため、市内高等学校に通う生徒を対象に物品の貸出を行いました。

福祉教育実施学校数 1校

講座名	延べ実施校数	実施回数	延べ受講生徒数
車いす体験	1校	1回	16人
合計		1回	16人

(ウ) 市内企業・団体用福祉教育推進事業

見守り、見守られ、支え合い、一人一人が尊重される地域づくりの推進を図るため、市内企業・団体を対象に物品の貸出を行いました。

実施企業・団体数 2団体

講座名	延べ実施団体数	実施回数	延べ受講者数
高齢者擬似体験	2団体	3回	278人
合計		3回	278人

エ ボランティア団体等への助成

(ア) ボランティア団体活動助成金

25団体 交付総額 466,900円

(イ) 障がい者支援団体助成金

4団体 交付総額 530,000円

オ ボランティア情報の提供

ボランティア募集情報パンフレットやホームページ、ボランティアセンター掲示板等で情報の提供を行いました。

カ 災害ボランティア支援体制の強化

(ア) 災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座

災害ボランティアセンターの運営に係るスタッフの養成を目的として開催しました。

開催日	令和5年6月21日(水)、28日(水)
場所	厚木市保健福祉センター
講師	災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ 事務局長 石田真実氏
参加者	6人(登録3人)
内容	(1)災害時の自助、共助について(講義) (2)グループワーク

(イ) 災害ボランティアセンター運営スタッフ向け研修

厚木青年会議所が主催で実施する防災イベントに参加し、厚木市・愛川町・清川村の3市町村の災害想定や平時から家族で取り組めること、被災地の事例等を学び、防災に関する識見の向上を目的として開催しました。

開催日	令和5年11月12日(日)
場所	神奈川工科大学 講堂
講師	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会 井上晴香氏 社会福祉法人清川村社会福祉協議会 大橋真二氏 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 小又倫実
参加者	9人
内容	厚木市・愛川町・清川村 社会福祉協議会3市町村ミーティング (パネルディスカッション)

(ウ) 災害に備える地域力講座～支援を活かす地域力ワークショップ～

被災者が直面した事例を基に、近隣での支え合いと外部支援の受け止め方を学ぶとともに、平時からできる地域での顔の見える関係づくりを考える場を創出することを目的として開催しました。

また、講師が能登半島地震の災害支援活動に参加されていたため、講師のみオンラインでつなぎ、開催しました。

開催日	令和6年2月3日(土)
場所	あつぎ市民交流プラザ
講師	一般社団法人ピースボート災害支援センター 関根正孝氏
参加者	25人
内容	(1)災害に備える地域力講座 (災害ボランティアセンターの役割、地域住民による被災者支援の取組等の講義) (2)能登半島地震での現状(活動報告)

(エ) 災害ボランティアセンターに関する打合せ(厚木市と連携)

開催日	令和5年6月26日(月)、7月28日(金)
場所	厚木市保健福祉センター、市役所第二庁舎
出席者	4人、10人

(オ) 災害ボランティアセンター設置運営訓練(厚木市、厚木青年会議所と連携)

開催日	令和5年9月3日(日)
場所	厚木市保健福祉センター、中町大型バス発着場、厚木市役所
参加者	74人

(カ) 協定書に基づく3者（青年会議所、厚木市、社協）情報交換会

厚木市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの改訂等について情報交換を行いました。

開催日	令和5年11月1日(水)
場所	アミューあつぎ
出席者	7人

キ ボランティア団体との共催による講座

(7) 夏休み親子手話教室

親子で楽しみながら手話を体験及び学習することを目的に開催しました。

開催日	令和5年7月26日(水)、27日(木)、28日(金)
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市手話サークルあゆの会
参加者	8組17人

(イ) 手話入門講座

聴覚障がい者に対する認識や理解を深めることを目的に開催しました。

開催日	令和6年2月1日、8日、15日、22日、29日 すべて金曜日
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市手話サークルあゆの会
参加者	19人

(ウ) 音声訳講座

視覚に障がいのある方々に音声による情報提供を行うために、必要な音声訳の基礎知識と技術を学ぶことを目的に開催しました。

開催日	令和5年9月22日(金)(説明会) 9月29日から11月24日 すべて金曜日
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市録音赤十字奉仕団
参加者	7人

(エ) パソコンサポートボランティア養成講座

目の不自由な方を対象に、パソコン操作をサポートするボランティアを養成することを目的に開催しました。

開催日	令和6年2月13日(火)、2月20日(火)
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木障害者PCサポートクラブ
参加者	1人

(オ) 福祉教育推進ボランティア養成講座

市内小学校等で車いす操作や高齢者擬似体験を指導する講師を養成することを目的に開催しました。

開催日	令和6年2月6日(火)、2月7日(水)
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市福祉教育推進ボランティアあおぞら会
参加者	6人

(カ) 視覚障がい者の誘導法講座

視覚に障がいのある方々の外出を支援する誘導法を習得したボランティアの養成を図ることに開催しました。

開催日	令和6年2月3日、10日、17日、24日、3月2日 すべて土曜日
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市誘導赤十字奉仕団
参加者	6人

(キ) はじめての誘導体験教室

広く市民を対象として、誘導法の基本の学習と体験を行いました。

開催日	令和5年10月14日(土)
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市誘導赤十字奉仕団
参加者	9人

(6) 資金貸付事業【9,076,963円】

ア 生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯等の経済的自立及び安定した生活の促進を図るため生活福祉資金制度の申込受付を行いました。

資金の種類	申込件数	申込額
緊急小口資金	4件	350,000円
福祉資金	2件	2,505,000円
教育支援資金	11件	9,471,000円
合計	17件	12,326,000円

※ 生活福祉資金の貸付金については、原則、神奈川県社会福祉協議会から借受者の口座に振込まれます。

(イ) 利用会員登録者数 5人

(ウ) 協力会員（ヘルパー）登録者数 13人

ウ 災害見舞金の支給

災害罹災世帯に対して見舞金を支給しました。

区分	件数	支給額	備考
全焼	2件	50,000円	@30,000円×1、@20,000円×1
合計	2件	50,000円	

2 権利擁護支援センター

(1) 権利擁護支援事業【25,771,464円】

ア 成年後見制度の利用促進

(ア) 成年後見制度の周知啓発

厚木市権利擁護支援センターあゆさぼのパンフレットを関係機関へ送付し、成年後見制度やあゆさぼの周知啓発を行いました。また、ノベルティを作成、配布し、更なる周知に努めました。

また、タウンニュース等への関連記事の掲載、本会ホームページやフェイスブックで随時情報発信を行いました。

(イ) 職員が地域に出向き、出前講座を実施しました。

	開催日等		参加者
1	開催日	令和5年7月26日（金）	25人
	実施先	令和5年度第4回相談支援事業所連絡会	
	内容	成年後見制度と厚木市権利擁護支援センターあゆさぼの役割 あんしんセンターについて	
2	開催日	令和5年10月1日（日）	14人
	実施先	林長寿会	
	内容	これからの備える成年後見制度 (成年後見制度の概要とあゆさぼの案内)	
3	開催日	令和5年10月7日（土）	30人
	実施先	神奈川県精神障害者地域生活支援団体連合会	
	内容	知っていきたい成年後見制度の基礎知識 ～厚木市権利擁護支援センターあゆさぼの役割～	
4	開催日	令和5年11月20日（水）	16人
	実施先	J Aあつぎ すすしろ	
	内容	成年後見制度とあゆさぼの役割	
5	開催日	令和5年11月26日（日）	30人
	実施先	あつぎ市民活動ネットワーク	
	内容	終活について、あゆさぼについて	

		開催日等	参加者
6	開催日	令和5年12月17日(日)	20人
	実施先	すぎな家族の会	
	内容	成年後見制度とあゆさぼについて	
7	開催日	令和6年1月19日(金)	15人
	実施先	小鮎ボランティアの会	
	内容	終活について、あゆさぼについて	
8	開催日	令和6年3月10日(日)	40人
	実施先	旗月見台自治会ミニデイ	
	内容	終活について、あゆさぼについて	
9	開催日	令和6年3月12日(火)	15人
	実施先	厚木市手をつなぐ育成会	
	内容	成年後見制度とあゆさぼについて	

(ウ) 成年後見制度普及講座

啓発講座成年後見制度や関連する制度についての知識を深めるため実施しました。

1	開催日・場所	令和5年6月6日(火)アミューあつぎ
	実施先	支援者が知っておきたい法律知識
	参加者	35人(地域包括支援センター4人、居宅介護支援事業所16人、障がい支援事業所14人、訪問看護事業所事務担当1人)
2	開催日・場所	令和5年8月1日(火)アミューあつぎ
	実施先	やさしい成年後見
	参加者	市内在住、在勤者22人
3	開催日・場所	令和5年10月3日(火)アミューあつぎ
	実施先	準備が大切!任意後見制度と遺言
	参加者	市内在住、在勤者26人
4	開催日・場所	令和6年1月30日(火)アミューあつぎ
	実施先	違いが分かる!成年後見制度と家族信託
	参加者	市内在住、在勤者33人
5	開催日・場所	令和6年3月5日(火)アミューあつぎ
	実施先	事例を通して学ぶ 成年後見人等の役割 ～必要な人に繋ぐために～
	参加者	10人(障がい者支援関係事業所8人、相談支援事業所2人)

※講師 弁護士 香崎弘文氏、特定行政書士 千代川浩子氏、司法書士 二見吉明氏、財務コンサルタント 島田信也氏、司法書士 中野智子氏、社会福祉士 山中啓子氏

(エ) 成年後見制度地域連携講演会

市民及び様々なニーズの窓口となる福祉関係者、医療関係者等を対象とし、制度をより身近に感じられるように周知を図りました。

開催日・場所	令和5年12月14日（木）あつぎのえいがかんkiki
内 容	成年後見制度の現状と課題 ～地域連携ネットワークの構築に向けて～
参加者	市内在住、在勤者88人

※講師 全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事兼事務局長 又村あおい 氏

(オ) 多職種連携事例検討研修会

多職種の顔つなぎ、連携を目的に、後見活動を行っている専門職と厚木市内福祉医療関係者を対象とし、事例検討を行いました。

開催日・場所	令和5年12月5日（木）アミューあつぎ
内 容	グループワークでの事例検討
参加者	28人 ※厚木市で後見活動を行っている専門職および厚木市内の事業所に勤務する福祉医療関係者対象（内訳：弁護士3人、税理士2人、行政書士4人、ケアマネジャー9人、地域包括支援センター2人、障がい者相談支援センター1人、医療ソーシャルワーカー6人、高齢者施設職員1人）

※講師 社会福祉士 那須三朗 氏

(カ) 本人を中心とした「チーム支援」の仕組みづくり

関係機関と連携し本人の状況に応じて福祉・医療・地域等関係者がチームとして関わる“チーム支援”を行いました。

チーム支援対応件数：69件

(キ) 候補者調整会議

後見人等候補者を調整する会議を開催し、本人にとってふさわしい後見人等候補のマッチングに努めました。

1	開催日・場所	令和5年5月25日（木）アミューあつぎ
	協議事項等	(1)市民後見人追加選任申立て案件について (2)市長申立て候補者推薦案件について (日常生活自立支援事業からの移行)
2	開催日・場所	令和5年7月27日（木）アミューあつぎ
	協議事項等	市長申立て案件について
3	開催日・場所	令和5年11月30日（木）アミューあつぎ
	協議事項等	(1)市民後見人追加選任申立て案件について (2)本人申立て案件について (日常生活自立支援事業からの移行)
4	開催日・場所	令和6年1月15日（木）アミューあつぎ
	協議事項等	本人申立て案件について (11/30) 保留案件

5	開催日・場所	令和6年3月9日（木） アミューあつぎ
	協議事項等	市民後見人登録者名簿の更新について

イ 地域連携ネットワークにおける中核機関の運営

(ア) 厚木市成年後見制度利用促進協議会の運営

権利擁護における地域連携ネットワークの中核機関として、協議会の事務局を担い、各種専門職団体や各関係機関、家庭裁判所との連携、地域課題についての情報交換、検討の場として協議会を開催しました。

1	開催日・場所	令和5年5月24日（水） アミューあつぎ
	協議事項等	案件(1)市民後見人の活動と課題について 報告(1)令和4年度厚木市成年後見等利用支援事業の実施状況について 報告(2)令和4年度厚木市権利擁護支援センターあゆさぼの取組状況について その他(1)金融機関の協議会参加について その他(2)次回以降の会議日程について
2	開催日・場所	令和5年10月18日（水） アミューあつぎ
	協議事項等	案件(1)金融機関との情報交換 案件(2)厚木市成年後見制度利用促進基本計画について その他(1)多職種連携事例検討研修会について その他(2)令和5年度成年後見制度地域連携講演会について その他(3)次回の会議日程について
3	開催日・場所	令和6年2月21日（水） アミューあつぎ
	協議事項等	案件(1)金融機関との情報交換 案件(2)委員からの議題と情報共有について 報告(1)厚木市成年後見制度利用促進基本計画について その他(1)各団体主催の講演会や研修会等の情報提供について その他(2)令和6年度厚木市成年後見制度利用促進協議会開催日程案について

(イ) 「チーム支援」における専門職との連携

訪問による相談やチーム支援にアドバイザー（各種専門職）を派遣しました。

アドバイザー派遣件数 6件

(ウ) 成年後見制度関係等相談対応延べ件数 2,604件

(新規相談対応256件、継続相談対応2,348件)

(単位:件)

区分	高齢者		障がい者			その他	合計
	一般	認知症	精神	知的	身体		
問合せ	40	47	18	6	6	10	127
成年後見制度(法定後見)の具体的な相談	63	173	54	22	26	8	346
申立について	12	110	17	18	12	8	177
任意後見制度・終活相談	86	13	15	2	3	9	128
後見人等からの相談	10	72	11	18	1	0	112
チーム支援会議等の開催・参加	18	23	11	7	9	1	69
連絡・調整	278	588	185	179	133	12	1,375
その他	21	35	23	184	3	4	270
合計	528	1061	334	436	193	52	2,604

(エ) 専門職相談

実際に成年後見人等の業務を行っている専門職に制度の利用方法や後見人等の実務に関することなどを相談することができる専門職相談を実施しました。

(a) 弁護士による成年後見相談 相談件数 10件

(b) 司法書士による成年後見相談 相談件数 41件

ウ 成年後見制度の担い手の確保

(7) 市民後見人登録者資質向上研修

市民後見人登録者(19人)の知識の習得及び資質向上を目的とした研修を実施しました。

1	開催日・場所	令和5年7月7日(金) アミューあつぎ
	内容	支援記録の意義と書き方のポイント
	参加者数	15人
2	開催日・場所	令和5年11月28日(火) アミューあつぎ
	内容	家庭裁判所への定期報告について
	参加者数	15人
3	開催日・場所	令和6年3月22日(金) アミューあつぎ
	内容	市民後見人意見交換会 (1)市民後見人の受任状況と今後について (2)市民後見人の活動について(動画視聴) (3)意見交換(グループワーク)
	参加者数	10人

※講師 大学教授 村井祐一氏、行政書士 山田沙耶氏、社会福祉士 高松真由美氏(アドバイザー)

(イ) 市民後見人小グループミーティング

市民後見人登録者の活動の支援と推進を目的に、少人数で意見交換が行える場を設け、それぞれの経験を共有する場として開催しました。

1	開催日・場所	令和5年8月30日(水) 厚木市保健福祉センター
	内容	意見交換
	参加者数	6人
2	開催日・場所	令和5年11月6日(月) 厚木市保健福祉センター
	内容	意見交換
	参加者数	4人
3	開催日・場所	令和6年1月12日(金) 厚木市保健福祉センター
	内容	意見交換
	参加者数	7人

※アドバイザー 社会福祉士 那須三朗 氏、社会福祉士 高松真由美 氏

(ウ) 市民後見人登録者の待機期間の活動について

市民後見人登録者が成年後見人等を受任するまでの待機期間の活動として、6人の市民後見人登録者が本会の非常勤職員として日常生活自立支援事業の生活支援員業務を行いました。

(エ) 市民後見人の選任・活動について

横浜家庭裁判所小田原支部から市民後見人1人が新たに選任され、10人の市民後見人が後見活動を行いました。(本会と複数受任体制)

(オ) 親族後見人勉強会

後見人支援の一環として、家庭裁判所への報告や記録の管理の方法など、実際に後見人を受任している親族が学ぶことができるようにするを開催しました。

開催日・場所	令和6年2月2日(金) 厚木市保健福祉センター
内容	具体的な後見業務と家庭裁判所への報告について
参加者	19人(市内在住または在勤で、親族の成年後見人・保佐人・補助人を受任されている方4人、親族の成年後見人等になることを検討されている方15人)

※講師 司法書士 古根村博和 氏

(カ) 法人後見活動の普及啓発

法人後見に関する相談を受け、法人後見活動の普及啓発を行いました。

エ 法人後見事業

本会が成年後見人等となり法人後見を推進しました。

延べ支援件数 1, 246件

(7) 横浜家庭裁判所小田原支部から成年後見人等として選任されました。 1件

後見	保佐	補助
1件	—	—

(イ) 受任件数(令和6年3月31日現在) 10件

後見	保佐	補助
4件	5件	1件

(ウ) 受任体制充実のための内部カンファレンスの開催

	開催日・場所	協議事項等
1	令和5年4月20日(木) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)その他
2	令和5年5月26日(金) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見の受任事案の要件について (3)法人後見事業 事務処理について (4)その他
3	令和5年6月30日(金) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について
4	令和5年7月18日(火) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)その他
5	令和5年8月24日(木) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)その他
6	令和5年9月27日(水) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)その他
7	令和5年10月26日(木) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)その他
8	令和5年11月17日(金) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について
9	令和5年12月21日(木) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)その他

	開催日・場所	協議事項等
10	令和6年1月29日(月) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)その他
11	令和6年2月22日(木) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について
12	令和6年3月14日(木) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)その他

オ 高齢者及び障がい者の虐待に関すること

(ア) 高齢者及び障がい者の虐待等、権利侵害に関する相談、通報を受付し、関係機関の連携を図りました。また、本会広報紙やホームページで市民等に広報、啓発を行いました。

虐待相談受付件数 49件

(単位：件)

区分	高齢者	障がい者	その他	合計
虐待通報・届出受理	5	11	0	16
虐待相談・連絡調整	6	22	5	33

(イ) 虐待防止講演会

虐待防止の啓発を目的に開催しました。

開催日・場所	令和6年1月31日(水) アミューあつぎ
内容	「助けて」と言える地域づくりのために ～8050問題に向き合う～
参加者数	42人

※講師 弁護士 内嶋順一氏

カ 終活相談

高齢者が自分らしい人生の最期を迎えることができるよう適切な助言等を行うため、司法書士による終活相談を実施しました。

相談件数 41件

(2) 日常生活自立支援事業 【9,386,335円】

認知症や障がいにより日常生活上の判断能力が十分でない方に対し、福祉サービスの利用手続き、預貯金の出し入れなどの金銭管理や書類預かりを行い、日常生活の自立を支援しました。

延べ支援件数 2,677件

ア 新規契約件数

福祉サービス利用援助契約 9件 (高齢者8件、知的障がい者1件)

書類預かりサービス利用援助契約 1件 (知的障がい者1件)

イ 終了件数

福祉サービス利用援助契約 6件
 (高齢者2件、精神障がい者3件、身体障がい者1件)

ウ 利用契約件数(令和6年3月31日現在)

福祉サービス利用援助契約 37件
 (高齢者11件、知的障がい者4件、精神障がい者18件、身体障がい者4件)
 書類等預かりサービス利用契約 2件 (知的障がい者1件、精神障がい者1件)

エ 新規契約等についての内部カンファレンスの開催

	開催日・場所	協議事項等
1	令和5年4月28日(金) ボランティア研修室	(1)待機状況について (2)新規ケースについて(1件) (3)支援計画の見直しについて(1件) (4)日常生活自立支援事業要綱改正に伴う今年度の予定について (5)その他
2	令和5年5月29日(月) ボランティア作業室	(1)待機状況について (2)新規ケースについて(1件) (3)日生事業要綱改正に伴う事務処理について
3	令和5年6月26日(月) ボランティア作業室	(1)待機者について、契約待ちケースの状況について (2)新規ケースについて(2件) (3)その他
4	令和5年7月31日(月) ボランティア作業室	(1)待機者について、契約待ちケースの状況について (2)新規ケースについて(2件) (3)モニタリングの実施 (4)利用料に関する事務について
5	令和5年8月21日(月) ボランティア作業室	(1)待機状況について (2)契約中のケース状況について (3)事務連絡 (4)その他
6	令和5年9月25日(月) ボランティア作業室	(1)待機者について (2)契約内容の追加について(1件) (3)支援計画の見直しについて(3件) (4)事務連絡 (5)その他
7	令和5年10月20日(金) ボランティア作業室	(1)待機状況について (2)支援計画の見直しについて(3件) (3)その他
8	令和5年11月27日(月) ボランティア作業室	(1)待機状況について (2)支援計画の見直しについて(2件) (3)ケース相談 (4)その他

	開催日・場所	協議事項等
9	令和5年12月22日(金) ボランティア作業室	(1)待機状況について
10	令和6年1月29日(月) ボランティア作業室	(1)待機状況について (2)新規案件について(2件) (3)新規計画の見直しについて(1件) (4)モニタリングの実施 (5)その他
11	令和6年2月26日(月) ボランティア作業室	(1)待機状況について (2)ケースの状況について (3)事務連絡 (4)その他
12	令和6年3月25日(月) ボランティア作業室	(1)待機・調整・保留ケース状況について (2)次年度の支援計画見直しについて (3)その他

3 居宅介護事業【13,665,630円】

障害者総合支援法における居宅介護事業所として障がい福祉サービスを提供しました。

ア 利用契約状況等(令和6年3月31日現在)

(ア) 利用契約者数(視覚障がい者) 30人

(イ) 従業者(ヘルパー) 24人

イ サービス提供実績

(ア) 居宅介護事業

(単位:人、件、時間)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
家事援助	利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
	件数	8	8	7	8	7	7	7	7	7	5	3	4	78
	時間数	16.5	17.25	15.5	17.5	15	15	15.5	15	15.25	10.75	7.25	10	170.5

(イ) 同行援護事業

(単位:人、件、時間)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
同行援護	利用者数	25	22	24	25	20	22	25	24	22	20	20	21	270
	件数	123	112	125	128	103	105	129	126	118	95	99	115	1378
	時間数	528.5	478.5	564	520	445	472	547.5	537.5	507.5	441	482	535.5	6059

ウ 厚木市社協居宅介護事業所従業者研修

業務のレベルアップと適切なサービス提供を図ることを目的とした研修を開催しました。

開催日・場所	令和6年1月26日（金）厚木市保健福祉センター
内容	“スピーチロック”知らないうちに虐待していませんか？

※講師 NPO 法人神奈川県視覚障害者福祉協会、
神奈川県視覚障害者情報センター神奈川ライトハウス 福喜多恭子 氏

エ 虐待防止委員会

開催日 令和6年1月30日（火）

内容 虐待防止のための従業者研修に関すること

4 喫茶・売店事業 【7,303,577 円】

公益事業として、障がい者の雇用の場の確保と利用者の利便性向上のため、厚木市保健福祉センター内で、次の事業を実施しました。

ア 喫茶事業（ともしびショップの経営）

喫茶どんぐり（厚木市保健福祉センター1階）の設置経営

年間232日営業 延べ利用者 2,464人

イ 売店事業（ともしびショップの経営）

売店どんぐり（厚木市保健福祉センター1階）の設置経営

年間232日営業 延べ利用者 1,885人

ウ 厚木市保健福祉センター内における清涼飲料水の自動販売機の設置（4台）

5 自動販売機設置事業 【385,436 円】

収益事業として、市内公共施設に清涼飲料水等の自動販売機を設置し、本会福祉事業の財源確保を図りました。 計44台

6 その他

不要入れ歯リサイクルボックスの設置

厚木市保健福祉センター1階 大型回収ボックス1台

厚木市老人福祉センター寿荘 小型回収ボックス1台